



南太秦だより

平成30年度前期学校評価結果

平成30年度前期学校評価結果 臨時号

京都市立南太秦小学校

校長 二宮 靖男

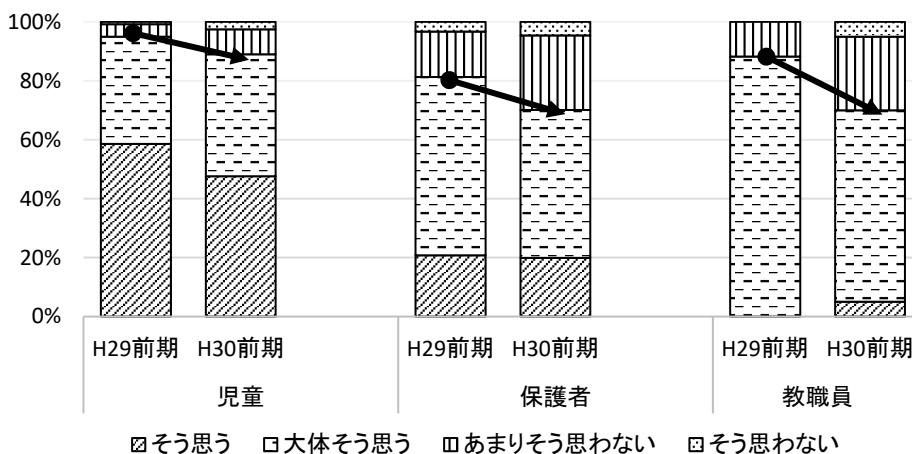
「南太秦小学校の教育に関するアンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。今回は前年度前期の結果との比較を行い、1年間での変化や気づいた点などをまとめています。

【アンケート回答率】児 童：99% 保護者：88% 教職員：100%

確かな学力

学ぶ意欲があり、進んで学習する子

基礎学力が身に付いている(漢字の読み書き・計算ができています)



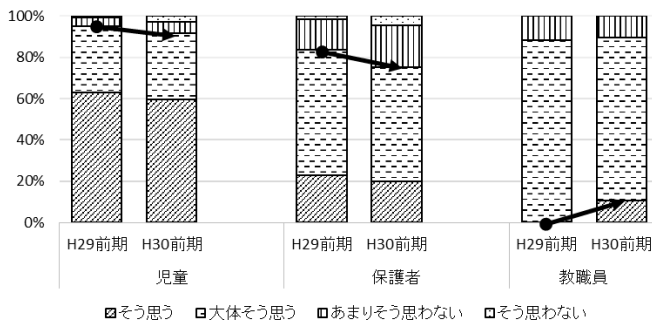
『基礎学力が身に付いている(漢字の読み書き・計算ができています)』について、3者ともに「そう思う」「大体そう思う」の割合が10ポイント近く下がっています。

【児童】95p→89p

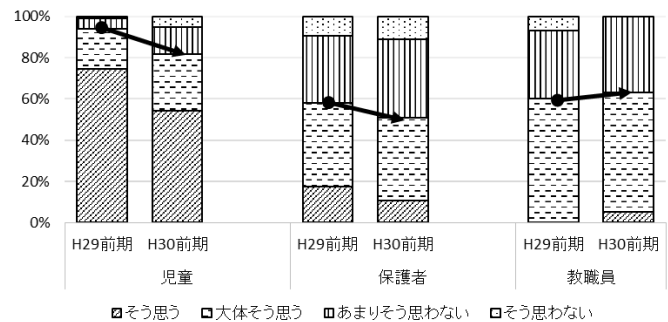
【保護者】81p→70p

【教職員】88p→70p

学校の勉強はよくわかっている



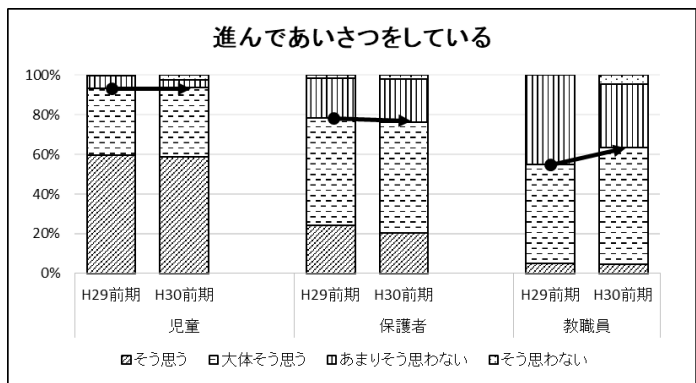
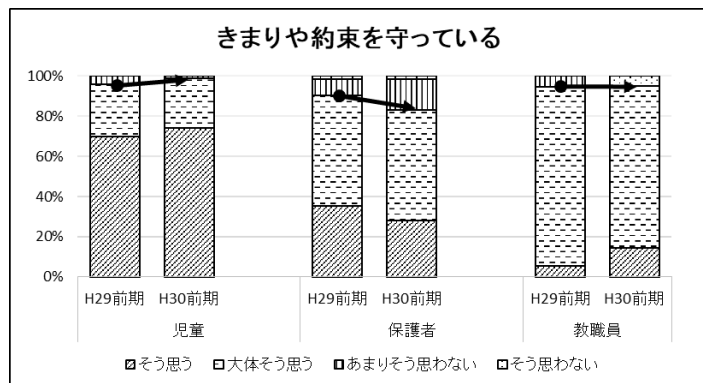
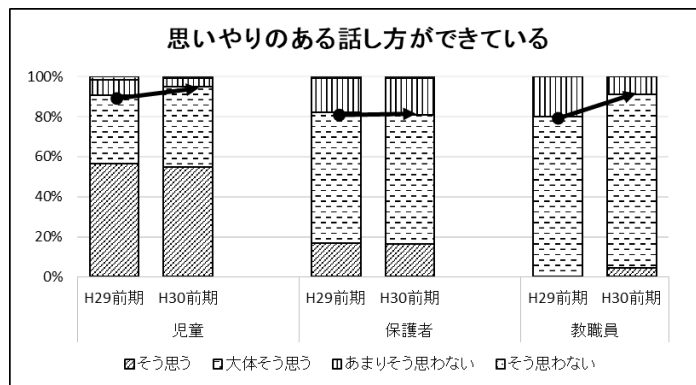
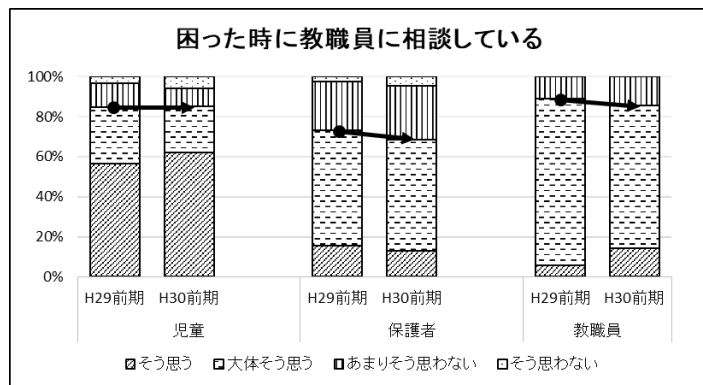
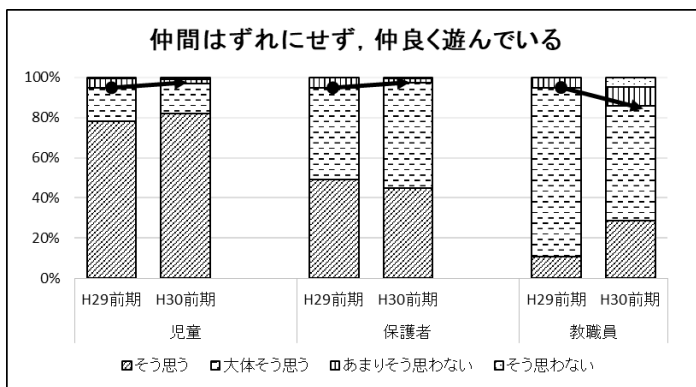
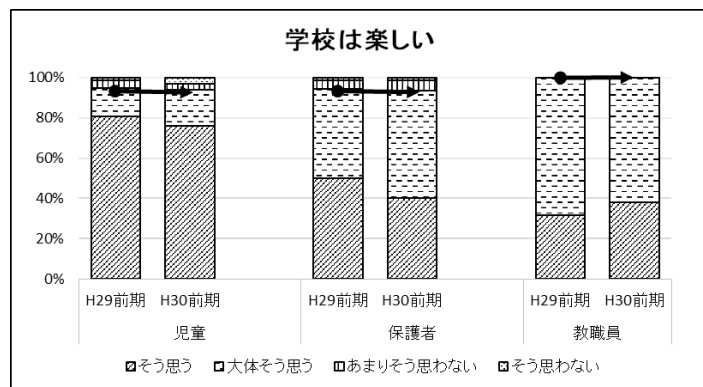
家での宿題・学習はしっかりとやっている(自分から進んで)



『学校の勉強はよくわかっている』『家での宿題・学習はしっかりとやっている(自分から進んで)』の2つの項目において、児童・保護者と教職員で認識の違いがみられます。

【考 察】 学力向上に向けた「授業づくり」と家庭学習の定着

3者ともに基礎学力定着の評価が下がっていること、学習指導において児童・保護者と教職員で認識の違いがあることに危機感を感じています。学力向上のカギは「学習規律の確立」「授業づくり」にあると考えます。今後はさらに学習規律の確立に向けた取組と授業改善を進めていこうと考えています。また、前年度から何度かお伝えしていますが、今年度、京都市では新学習指導要領を先行実施(2020年から全面实施)しており、中学年以上で大幅に授業時数が増加しています。本校でも木曜6校時を設定したり、学校行事の時期や内容の見直しをしたりしているところですが、現状として定着を図るための時間確保が難しい現状です。来年度以降、放課後の補習なども視野に入れ、部活動のあり方についても検討していきます。また、家庭学習については、各ご家庭での声かけ等もあり、教職員の評価が上がっています。家庭学習の定着が学習内容の定着にもつながります。今後も引き続き家庭と連携しながら家庭学習の定着を図っていきたいと思いますので、ご協力よろしくお願いいたします。



どの項目も大きな変化はありませんが、全体的に児童の評価は高く向上傾向も見られます。

【考 察】「特別の教科 道徳」の学習を通して

保護者、教職員アンケートでは、評価の上下はあるものの、どの項目においても大きな変化は見られませんでした。また、児童アンケートについては評価が下がっている項目はなく、いくつかの項目で評価が上がっていました。昨年度より「特別の教科 道徳」を研究教科とし、「他者を理解しようとする事」「人として大切な生き方を深く考えようとする事」を目指して学習を進めている成果が少しずつ表れているのではないかと思います。

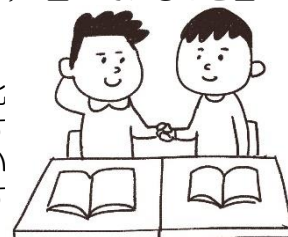
『困った時に教職員に相談している』の項目について、保護者の評価が依然として高くないことが気になります。児童アンケート実施後、気になる回答については、必ず担任による聞き取りを行い悩み解決に努めています。ご家庭でもお子様から気になることを聞かれた場合は、学校までご相談ください。

『進んであいさつをしている』は、児童と保護者・教職員との評価に差がありますが、教職員の評価は昨年度から10pほど高くなっています。さらに子どもたちの元気な挨拶があふれる学校を目指していきます。

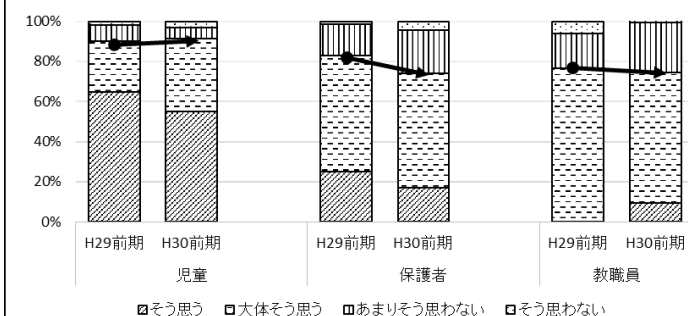
「困った時に先生に聞いてもらっている」

	高学年	中学年	低学年
よくあてはまる	54 %	52 %	80 %
すこしあてはまる	22 %	36 %	12 %
あまりあてはまらない	12 %	10 %	4 %
ぜんぜんあてはまらない	12 %	2 %	4 %

高学年で『ぜんぜんあてはまらない』の割合が高いですが、「困っていること自体がない」とのことでした。しかし、心の変化が大きい学齢です気を付けて見ていく必要があります

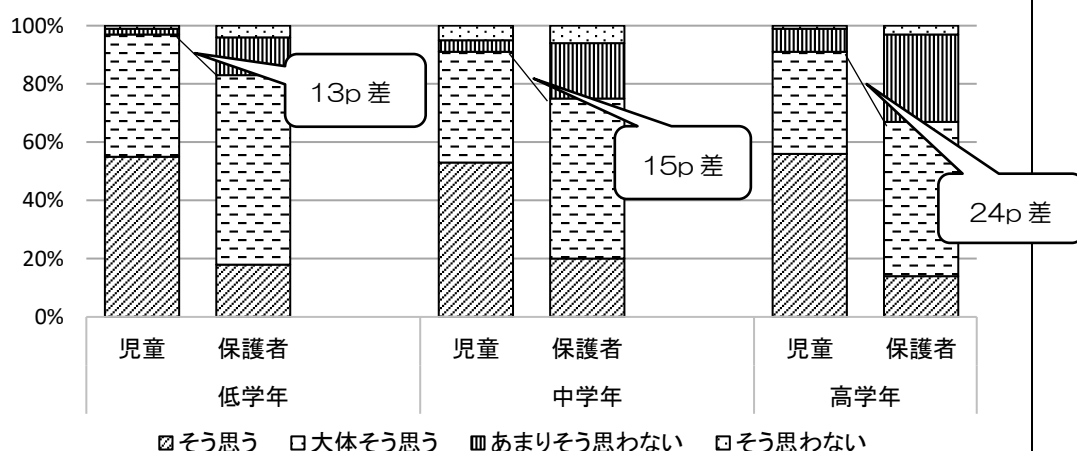


規則正しい生活を送っている



保護者の評価が10ポイント近く下がっています。児童と保護者と比較すると、学年が上がるにつれ、評価の差が大きくなっています。

規則正しい生活を送っている(児童・保護者比較)



南太秦小学校

推奨就寝時刻

低学年 9:00

中学年 9:30

高学年 10:00



【考察】 ネット利用のルールと大人の行動を見直してみませんか

このアンケートからは、子どもたちの就寝、起床の時刻はわかりませんが、子どもの評価と保護者・教職員の評価に大きな差があること、学年が上がるにつれて児童と保護者の評価に差が大きくなることから、大人の考える早寝早起きの時刻と子どもたちの考える時刻とにずれがあるのではないかと思います。南太秦小学校が推奨する就寝時刻を標記していますので、参考にしてください。また、日中眠たそうにしている子や体調不良を訴える子に前日寝た時刻と何をしていたのかを尋ねると、学年を問わず10:00以降が多く、「お家の人とテレビを観ていた。」「タブレットで動画観ていた。」という話をよく聞きます。特に動画サイトは、視聴者の興味に合わせて次々とおすすめ動画を表示してくるので、子どもたちは自分から止めることは難しいかもしれません。**「最初に時間を設定させる」「時間が来たら、途中で視聴を止めさせる」「スマホ・タブレットの使用はリビングだけ」「寝室に持ち込むことを禁止する」など、保護者の管理が大切です。**心も体も大きく成長する大切な時期です。子どもたちの健全な成長を願い、まずは私たち大人自身も子どもたちの見本となるような行動をしていきましょう。

自由記述より (一部抜粋)

- ◆ 男の子なので、あまり学校の話をしてくれませんが、端々から学校、友だち、先生を信頼して好きなんだなあと感じられます。
- ◆ 学校生活はとても楽しいと感じているようです。学習面においても積極的に取り組んでいると思います。お友達とも男女関係なくいろいろな子と仲良くしているように見受けられます。これからも充実した学校生活を送ってほしいです。
- ◆ 少し反抗期に入りつつあり、話し方や態度が気になります。自宅でも気を付け見ていきます。また、仲の良い友だちが決まりつつありますが、他の子とも仲良くできているのか気がかりです。
- ◆ 1人でいることも多いと聞いているのですが、帰宅後にあそんだりもしているので、「大体そう思う」と、「あまりそう思わない」の間くらいに思います。まだ1年生の1学期が終わり2学期がはじまったばかりなので、これからかなと見守っています。

- ◆ 子どもは学校が大好きです。今年の夏は猛暑が続き、プール、校庭開放がほとんど中止でした。来年の夏もまた同じような天候かもしれません。せめて図書館やふれあいサロンを開放していただきたかったです。
- ◆ 時間的制約があるのは承知の上ですが、算数の授業スピードが早く、理解する間もなく次の単元へ進んでいく。予習をしていって丁度良いくらいですが、宿題に追われてする時間がない。
- ◆ 18時に学童から帰ってきて21時半頃に寝る生活の中で、宿題、ごはん、風呂等をする和家庭で読書をする時間はないです。
- ◆ 毎年同じアンケートをされていますが、特に何か変わるわけではなく…。アンケートをして何に活用されるのか疑問です。

たくさんご意見・ご感想をいただきありがとうございました。学校評価は学校運営の組織的・継続的な改善、保護者・地域等の参画による開かれた学校づくり、教育活動の質的向上等を目的に、学校・家庭・地域が相互に高め合う「京都市方式」で実施しています。本校の保護者アンケートの回収率は88%以上と非常に高く、保護者の皆様の子供たち・学校教育への関心の高さがうかがえます。また、自由記述でもたくさんのご意見をいただいています。学校評価を通して、学校と家庭・地域が、お互いが足りないところを補い合い、互いに高め合う双方向の信頼関係を築くことを目指していますので、大変励みになっています。アンケート結果や保護者・学校運営協議会の皆様からのご意見を受け、校内で検討し改善点を探っています。例えば、夏季休業中の猛暑日の図書室開放なども来年度以降、学習の場として開放していくことも考えています。その他の結果やご意見についても校内で共通理解を図り、引き続き改善を進めていきたいと思ひます。今後も家庭・地域との連携を大切にしながら、学校教育をよりよいものにしていきたいと考えております。より一層のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

学校運営協議会理事の皆様より（一部抜粋）

確かな学力について

- ◆ 授業中の児童が取り組む姿勢については、担任が一人一人の児童について把握されていると思ひます。科目により得手、不得手があると思ひますが、まず児童にできるだけ不得手な科目を作らないよう根気強く児童に接していただきたいと思ひます。
- ◆ 家庭において両親がどの程度毎日の宿題に目を通してしているのか、授業の進路状況を把握できているのか疑問です。
- ◆ 基礎学力の定着についての評価が三者ともに下がっているのが気になり心配です。教科書の内容が難しくなったり、範囲が広がったりしていることあるのでしょうか。
- ◆ 高学年になると塾通いがあり、親も塾の先生に子どもの成績向上を委ねる風潮は拭えません。

豊かな心について

- ◆ 親子の家庭でのコミュニケーションがどの程度なされているかによるのではないのでしょうか。
- ◆ 「子どもの困り事、心配事に親が気付く」「親に相談できる家庭環境にあるのか、子どもの話に忙しくても耳を傾けているのか」だと思います。
- ◆ 高学年になる程、登下校時の挨拶の声は弱くなるように感じます。
- ◆ 家庭で子どもとの挨拶ができていますでしょうか。朝の送り出す時、帰宅時の迎えの挨拶はできていますでしょうか。子どもたちの豊かな心は親の愛情が非常に大切であることは今も昔も一緒です。
- ◆ 過日、子どもみこしの宵宮の開催について、「台風が接近しているのに子どもが絶対に行くと言っているので心配だ。」と学校や行政に主催者側へ中止要請をしてほしいと連絡をされた方がおられたようです。子どもを心配される気持ちもあるかと思ひますが、まずは家庭で子どもに理解できるようにコミュニケーションをとるべきではないのでしょうか。

健やかな体について

- ◆ いつも元気な体と優しい心を養うには家庭において様々なルール作りが必要です。
- ◆ 大人（保護者、教職員）と子どもの評価の差が出るのは仕方がないかもしれませんが、TV、ネット動画等、夜更かしの種が多くなっているため、これは保護者の責任で管理して頂ければと思ひます。
- ◆ スマホやゲームについては、親、兄弟姉妹も家族一緒にルール作りに参加し、健康的な家庭生活が送れる基盤作りが必要だと思ひます。ここでも家族間のコミュニケーションが大切にされていれば相互理解できるはずです。

＜アンケートへのご協力・ご意見ありがとうございました。今後の教育活動に生かさせていただきます。＞